

暮らし向きについての質問では、「**苦しくなった**」と答えた人の割合は、**4年連続で増加**している。その理由を確認すると、「**家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから**」と答えた人の割合が**65.2%**と**3年連続で60%を超えた**。

凡例



1%以上の増



1%未満の増減



1%以上の減

1. 県民の生活全般について

1年前と比較した暮らし向きの実感（問2）（数値は当該回答をした人の割合）

	R5	R6	R7
楽になった※1	6.5%	6.7%	6.6%

	R5	R6	R7
苦しくなった※2	43.8%	45.6%	48.5%

※1「とても楽になった」、「少し楽になった」の合計。 ※2「少し苦しくなった」、「とても苦しくなった」の合計。

POINT

・「**苦しくなった**」と答えた人の割合は**4年連続で増加**した。

暮らし向きの実感が「苦しくなった」と答えた理由（問4）（数値は当該回答をした人の割合、5つ以内で複数回答、上位3項目）

項 目	R5	R6	R7
家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから	61.8%	67.7%	65.2%
給料や収益が増えない、または減少したから	58.3%	58.2%	55.8%
税金や保険料の支払いが増えたから	43.5%	42.7%	44.2%

POINT

・「苦しくなった」と答えた理由のうち、「**家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから**」と答えた人の割合が、**3年連続で60%を超えた**。

将来の奈良県での定住意向（問6）（数値は当該回答をした人の割合）

	R5	R6	R7
住みたい※3	68.9%	66.5%	68.1%

	R5	R6	R7
住みたくない	5.6%	6.5%	5.1%

※3「ずっと住みたい」、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」の合計。

POINT

・「**住みたい**」と答えた人の割合は**増加**した。

将来的に奈良県に「住みたい」と答えた理由（問7）（数値は当該回答をした人の割合、5つ以内で複数回答、上位3項目）

項 目	R5	R6	R7
自然災害が少ないから	70.9%	68.6%	73.8%
緑などの自然環境がよいから	56.1%	50.0%	52.7%
騒音・振動・大気汚染などが少なく周辺環境がよいから	45.7%	44.3%	45.2%

今後奈良県に力を入れてほしい分野についての質問では、40歳代以下では「こども・子育て支援」が第1位^{※4}となり、50歳代以上では「福祉・介護の充実」が第1位となった。

※4 20歳代では「こども・子育て支援」と「インフラ整備」が第1位

2. 奈良県が進める政策について

今後奈良県に力を入れてほしい分野（問9）（数値は当該回答をした人の割合、3つ以内で複数回答、上位5項目）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	福祉・介護の充実 45.9%	医療の充実 36.7%	インフラ整備 33.3%	防災・危機管理 30.5%	地域公共交通の確保 27.2%
20歳代	こども・子育て支援 インフラ整備 ※5 38.3%		地域公共交通の確保 26.1%	医療の充実 25.2%	防災・危機管理 20.9%
30歳代	こども・子育て支援 62.2%	教育の充実 30.8%	インフラ整備 30.3%	医療の充実 29.9%	防災・危機管理 22.9%
40歳代	こども・子育て支援 41.5%	福祉・介護の充実 33.2%	インフラ整備 32.9%	防災・危機管理 医療の充実 31.0%	
50歳代	福祉・介護の充実 47.5%	医療の充実 40.3%	インフラ整備 37.8%	防災・危機管理 31.2%	地域公共交通の確保 24.8%
60歳代	福祉・介護の充実 55.3%	医療の充実 42.6%	インフラ整備 34.9%	防災・危機管理 34.3%	地域公共交通の確保 24.1%
70歳代以上	福祉・介護の充実 53.6%	地域公共交通の確保 37.9%	医療の充実 36.1%	防災・危機管理 30.4%	インフラ整備 29.5%

※5 2つの選択肢の回答数が同じ

問10～問14（数値は当該回答をした人の割合）

設 問	男女ともに働きやすい 職場づくり	こどもを安心して預けられる 教育や保育体制の整備	若者や子育て世代に奈良 県でのくらしの魅力を 届ける
「奈良県こどもまんなか未来戦略」で力を入れてほしい取組	52.2%	49.9%	35.0%

設 問	そう思う※6	そう思わない ※7
高齢者の運転免許の自主返納に向けた取組をもっと進めていくべきか	83.5%	16.0%

※6 「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」の合計。 ※7 「どちらかといえば、そう思わない」、「そう思わない」の合計。

設 問	そう思う※8	そう思わない ※9
カーボンニュートラルの実現やGX（グリーントランスフォーメーション）による産業の競争力強化等に向けた取組を進めていくべきか	86.2%	11.9%

※8 「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」の合計。 ※9 「どちらかといえば、そう思わない」、「そう思わない」の合計。

設 問	そう思う※10	そう思わない ※11
次世代の高度な技術を活用したサービスの社会実装を目指した実証実験や調査研究などの取組を進めていくべきか	82.1%	16.8%

※10 「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」の合計。 ※11 「どちらかといえば、そう思わない」、「そう思わない」の合計。

設 問	そう思う※12	そう思わない ※13
奈良県が道路の新設や維持修繕にもっと力を入れていくべきか	93.0%	6.5%

※12 「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」の合計。 ※13 「どちらかといえば、そう思わない」、「そう思わない」の合計。